

第12回『泉大津市オリアム^{エッセイ}随筆賞』

応募要領



この随筆賞の「オリアム」とは、泉大津市の特産品である毛布・ニット・毛織物などを連想させる「織」と「編」に由来しています。

令和5年6月

泉大津市 地域経済課

1. 目的

国内生産の約9割を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることにより、地域産業の活性化を図ります。

2. 主催等

主催： 泉大津市 後援： 泉大津商工会議所

3. 募集期間

令和5年6月1日（木）～10月2日（月）

※郵送の場合、当日消印有効。窓口の場合は17時15分まで。

4. 応募資格

制限はありません。（最優秀賞（オリアム^{エッセイ}随筆賞）受賞者を除く）

5. テーマ

衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“繊維製品”に触れる内容にしてください。

6. 応募作品

- 応募者オリジナルの未発表と認められるエッセイで、日本語で書いたものに限り、また、他の文学賞などへの二重送稿された作品は不可とします。
※エッセイとは、暮らしの中で感じたこと、経験や意見を表現した文章をいいます。
- 作品の中で“繊維製品”に触れてください。
- 400字詰原稿用紙（A4）5枚。 ※4枚以下6枚以上の場合は不可とします。
- 用紙の1行目に作品タイトルを、2行目から本文を記載してください。原稿用紙内に氏名の記載は不要です。
- パソコン推奨設定：ワードの原稿用紙設定を20字×20行、文字の大きさは12ポイント程度、用紙の上下左右の余白はそれぞれ3cm程度、右綴じ、縦書きでA4横判、下余白中央部分に通し番号（1～5）を記載してください。

7. 応募点数

一人2作品までとします。

8. 応募方法

- 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、次の住所に持参または郵送するか、以下に記載のオンライン応募フォームよりご応募ください。

- 住所：〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号

泉大津市役所 地域経済課 オリアム随筆係 宛

※ 応募用紙は市のホームページからダウンロード可能



市HP

オンライン応募フォーム

9. 選考

最終選考については、次の選考委員により決定します。

有栖川有栖氏、玉岡かおる氏、難波利三氏、吉村萬吉氏（50音順）

なお、選考に関するお問い合わせには応じられません。

10. 賞金等

- 最優秀賞（オリアム^{エッセイ}随筆賞） 1 作品 （賞金 50 万円・賞状）
- 優 秀 賞 2 作品 （賞金 5 万円・賞状）
- 佳 作 3 作品 （賞金 3 万円・賞状）
- 泉大津市長賞 1 作品 （泉大津市特産品 2 万円相当・賞状）

賞状と副賞は表彰式で贈呈します。賞金は後日振込します。

なお、泉大津市長賞は、泉大津市在住者の応募作品を対象とします。

11. 発表

令和 5 年 12 月末に泉大津市ホームページへ掲載し、令和 6 年 2 月号広報紙で発表（氏名、住所（市区町村名まで）及び年齢等）する予定です。また、入賞者を含めた最終選考対象者には 12 月初旬頃に通知しますが、それ以外の方には通知しません。

なお、入賞者は、報道機関等にも記事提供しますので、場合により顔写真の提供をお願いする場合があります。

12. 表彰式

入賞者の表彰式は、令和 6 年 3 月頃に選考委員をパネリストに迎えたディスカッション形式の文学フォーラムとあわせて行います。

なお、入賞者には、原則として表彰式及び文学フォーラムへのご出席をお願いいたします。

13. 注意事項

- 応募作品は、著作権や肖像権に抵触しないように注意してください。応募作品にこれらの問題が発生しても、泉大津市には一切関係なく、その責任・解決は全て応募者が負うものとなります。
- 入賞作品の著作権は泉大津市に帰属し、応募作品は返却しません。
- 応募作品が応募者オリジナルの未発表作品でないと判明した場合は、応募者は賞金と賞状を返還するものとなります。

14. 問い合わせ先

泉大津市政策推進部 地域経済課

〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町 9 番 12 号（泉大津市役所）

TEL 0725-33-1131（代表） FAX 0725-32-6000

【選考委員プロフィール】

<有栖川 有栖>



ミステリーの最前線で活躍している代表的な推理作家。昭和34年、大阪市生まれ。同志社大学法学部卒。

平成15年、「マレー鉄道の謎」で日本推理作家協会賞、平成20年、「女王国の城」で本格ミステリ大賞、平成30年、火村英生シリーズで吉川英治文庫賞を受賞。

大阪に在住し、大阪を舞台にした作品も多い。作品の多くは中国、台湾、韓国でも翻訳出版され、TVドラマの原作にもなっている。現在まで、数々の文学賞選考委員を務めている。

<玉岡 かおる>



『天涯の船』、『銀のみち一条』など明治を背景とする作品をはじめ、『ウエディングドレス』などの現代ものから『虹つどうべし〜別所一族ご無念御留』などの戦国もの、古代史に挑んだ『天平の女帝孝謙称徳』まで、幅広い作品世界で著書多数。TVドラマ化・舞台化された話題作『お家さん』で、第25回織田作之助賞を受賞。また、新作能『媽祖』を書き下ろし、観世会館にて上演され、『姫君の賦〜千姫流々』がオペラ化されるなど、あらたな領域にも進出。最新作「帆神〜北前船を馳せさせた男・工楽松右衛門」で第41回新田次郎賞、また第15回舟橋聖一賞のW受賞。

<難波 利三>

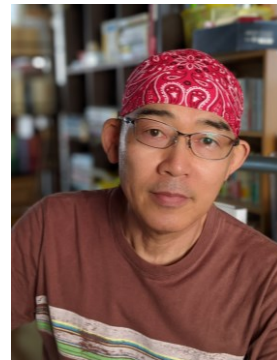


島根県出身。昭和47年「地虫」で第40回オール讀物新人賞受賞、昭和59年「てんのじ村」で第91回直木賞受賞。日本文藝家協会会員、日本ペンクラブ会員である。大阪市教育委員、大阪市立クラフトパーク初代館長を務め、平成18年に大阪芸術賞受賞。これまでに各文学賞や漫才、落語など数多くの選考委員に関わる。

主な著作は「てんのじ村」「大阪希望館」「小説吉本興業」「難波利三・石見小説集」など多数。

上方落語台本大賞の選考委員、作家養成スクール「心斎橋大学」の講師など務めている。

<吉村 萬吉>



昭和36年、愛媛県松山市生まれ、大阪育ち。京都教育大学卒業後、高校教師や支援学校教諭を経て、平成13年「クチュクチュバーン」で第92回文学界新人賞を受賞。

平成15年「ハリガネムシ」で第129回芥川賞、平成28年「臣女」で第22回島清恋愛文学賞を受賞。

「阿波しらさぎ文学賞」「かいつか家族の日エッセイコンクール」の選考委員を務めている。